

概要

野菜用アマランサスは、熱帯の国々で広く利用されており、ミネラルやビタミンが豊富な植物である。野菜用アマランサスは様々な色の葉を持つが、特に赤色の葉を持つものを岐阜大学では仙寿菜として商標登録し、美濃市などとともに普及に取り組んでいる。

内容

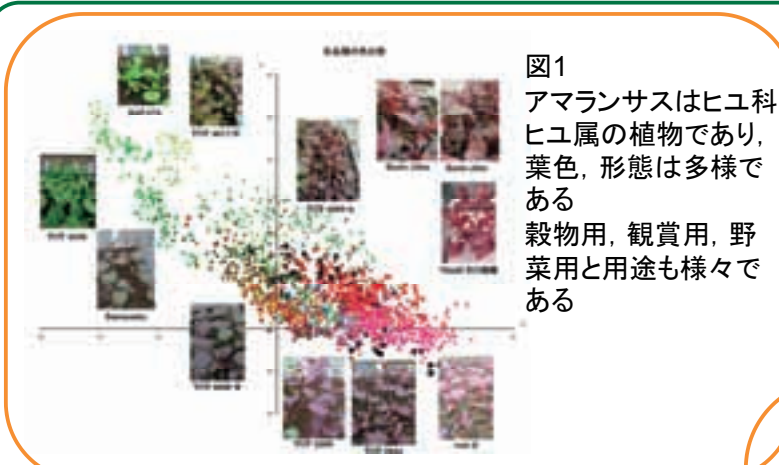


図1 アマランサスはヒユ科ヒユ属の植物であり、葉色、形態は多様である  
穀物用、観賞用、野菜用と用途も様々である

野菜用アマランサスは、熱帯のホウレンソウとも呼ばれ、世界各地の熱帯の国々で食されている。暑さに強いいため、地球温暖化が進む中で注目される野菜である。岐阜大学では、「仙寿菜」の名称で、美濃市などとともに普及に取り組んでいる。

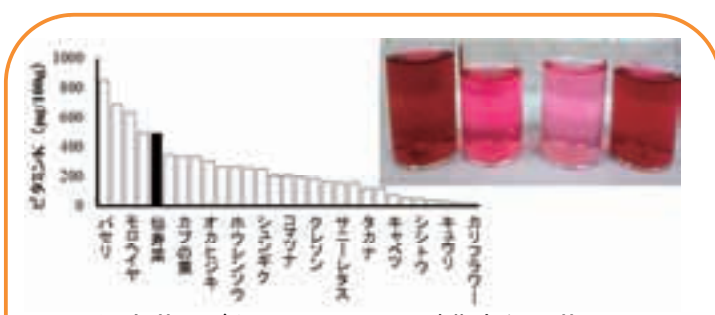


図2 仙寿菜はビタミンやミネラルが豊富な野菜  
葉から抽出したベタシアニンは、pHに安定で鮮やかな赤色を示す食品色素となる



図3 岐阜大学では美濃市の農家の方々と共に仙寿菜の普及に取り組んでいる

アピールポイント

中高生のみなさんへ

世界の多くの植物は、各地の人々の文化や栽培環境によって様々な利用がされています。食料や食品原料としてだけでなく、工業原料や燃料としての役割もあり、健康に配慮した食材や環境負荷の少ない原料として、その重要性は益々高くなっています。植物は動かないし成長も遅いため、魅力が乏しく見えますが、その機能や役割はとても重要で魅力ある学問対象物です。

産業界・地域の方へ

野菜用アマランサスは熱帯原産のため暑さに強く、病気や様々な不良環境にも強い栽培しやすい作物です。栄養価も高く、熱帯のホウレンソウ（ホウレンソウは寒い地方の野菜）と呼ばれ、地球温暖化が進む中で、世界各地で栽培が広がっている野菜の一つです。またアマランサスの含有するベタシアニンは、抗酸化活性が高く pHに安定した赤色色素で、食品用色素としても利用されています。